

大田原市の 財政状況



市では、毎年6月と12月の年2回、市の財政状況を公表しています。

今回は、平成22年度上半期(4月1日～9月30日)の予算執行状況と平成21年度決算をお知らせします。

平成22年度上半期 財政状況

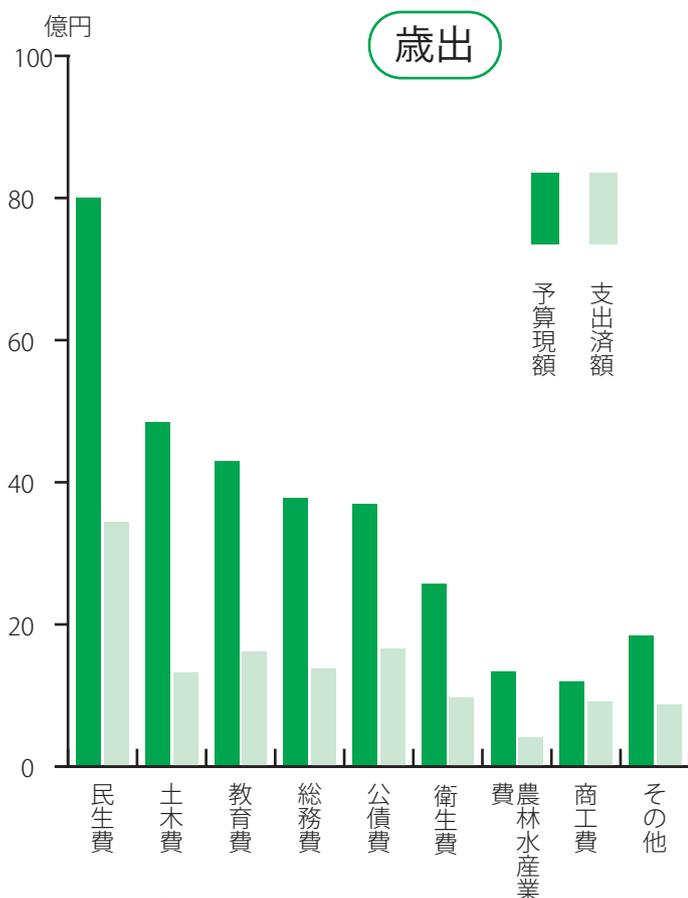
平成22年
9月30日現在

一般会計の状況

平成22年度一般会計の上半期予算現額は、前年度からの繰越事業分を含め315億9651万円。これに対し、収入済額は158億576万円、収入率50.0%、支出済額は126億865万円、支出率39.9%でした。

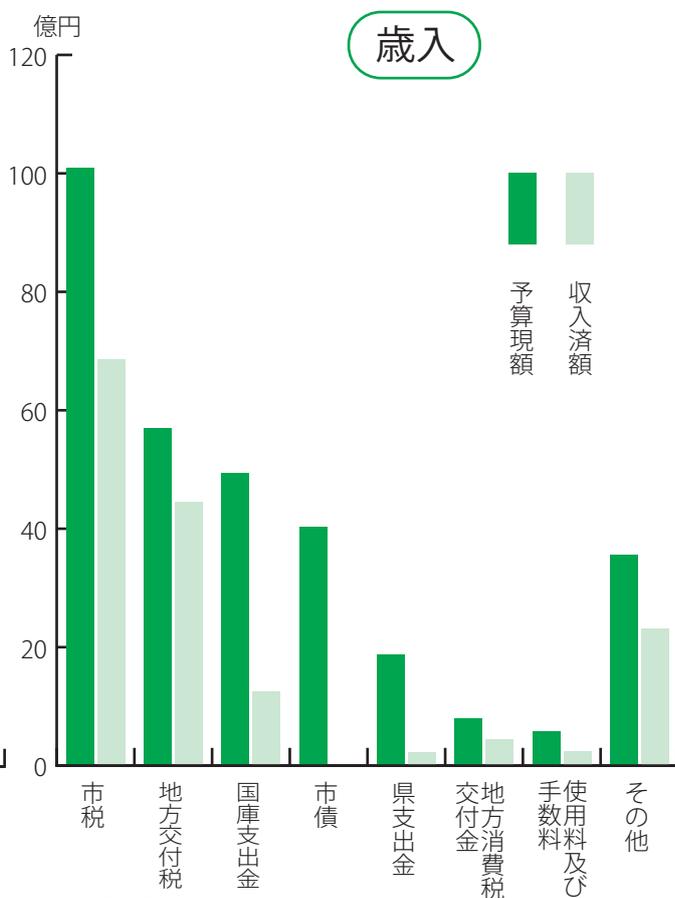
前年同期と比較すると、収入率が6.2%(前年度43.8%)の増、支出率は1.7%(前年度38.2%)の増になっています。

一般会計の状況



● 一般会計歳出

科目	予算現額	支出済額
民生費	80億764万円	34億4,115万円
土木費	48億5,484万円	13億2,594万円
教育費	43億80万円	16億1,570万円
総務費	37億8,390万円	13億8,090万円
公債費	36億9,934万円	16億6,108万円
衛生費	25億6,914万円	9億6,886万円
農林水産業費	13億3,550万円	4億1,806万円
商工費	12億426万円	9億2,013万円
その他	18億4,109万円	8億7,683万円
合計	315億9,651万円	126億865万円
支出率		39.9%



● 一般会計歳入

科目	予算現額	収入済額
市税	100億9,709万円	68億6,737万円
地方交付税	57億円	44億5,426万円
国庫支出金	49億4,846万円	12億5,243万円
市債	40億2,730万円	
県支出金	18億7,677万円	2億2,324万円
地方消費税交付金	7億9,500万円	4億5,463万円
使用料及び手数料	5億8,562万円	2億4,300万円
その他	35億6,627万円	23億1,083万円
合計	315億9,651万円	158億576万円
収入率		50.0%

市税の状況

税 目	予算現額	収入済額	収入率
固定資産税	51億 436万円	38億4,354万円	75.3%
市 民 税	40億3,327万円	23億9,013万円	59.3%
市たばこ税	4億3,186万円	2億1,451万円	49.7%
都市計画税	3億4,320万円	2億5,601万円	74.6%
軽自動車税	1億6,170万円	1億5,297万円	94.6%
入 湯 税	2,270万円	1,021万円	45.0%
特別土地保有税	0.1万円	0万円	0.0%

財産の状況

土 地	5,574,787㎡
建 物	325,367㎡
基 金	63億9,235万円

特別会計の状況

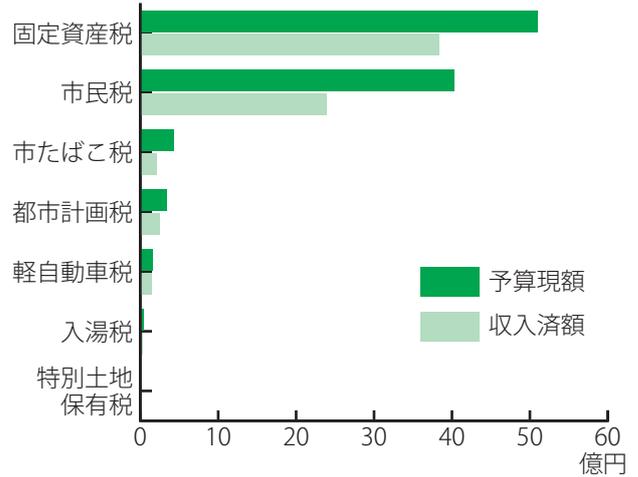
会計名	予算現額	収入済額	収入率
		支出済額	支出率
国民健康保険事業費	78億3,932万円	30億9,904万円	39.5%
		32億2,290万円	41.1%
下水道事業	21億9,437万円	7億4,181万円	33.8%
		6億9,644万円	31.7%
老人保健	574万円	3,122万円	544.0%
		72万円	12.5%
農業集落排水事業	1億9,330万円	1億 268万円	53.1%
		7,757万円	40.1%
介護保険	47億8,363万円	22億9,171万円	47.9%
		19億8,555万円	41.5%
子育て支援券	2億7,900万円	1億2,731万円	45.6%
		7,571万円	27.1%
後期高齢者医療	5億7,660万円	2億8,657万円	49.7%
		1億7,189万円	29.8%
須賀川財産区	78万円	15万円	18.8%
		3万円	4.0%

※ 一時的な資金の不足については、一時借入金などにより対処しました。

水道事業の状況

●収入および支出の状況		
《収益的収支》 事業運営を目的とした収支	収 入	6億7,737万円
	支 出	3億6,922万円
《資本的収支》 施設整備を目的とした収支	収 入	6,175万円
	支 出	2億4,923万円
●業務の状況 (平成22年9月30日現在)		
給水戸数	25,281戸	
給水人口	71,259人	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、内部留保資金で補てんしました。



平成22年7月にリニューアルオープンした黒羽運動公園テニスコート

特別会計の状況

「特別会計」とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例で設置しているものです。

本市には、国民健康保険事業費、下水道事業、老人保健、農業集落排水事業、介護保険、子育て支援券、後期高齢者医療、須賀川財産区の8つの特別会計があります。



整備が進む下水道

水道事業の状況

水道事業の収支は、「収益的収支」と「資本的収支」に大別できます。

「収益的収支」とは、事業運営を目的とした収支です。収入には水道料金、加入金、一般会計からの営業補助金などがあり、支出には水道管修繕費、人件費、借入金の利子償還金などがあります。

「資本的収支」とは、施設整備を目的とした収支です。収入には工事のための国・県補助金や起債(借入金)、工事負担金などがあり、支出には水道管布設工事費、移設工事費や借入金の元金償還金などがあります。

平成21年度 決算の概要

一般会計の状況

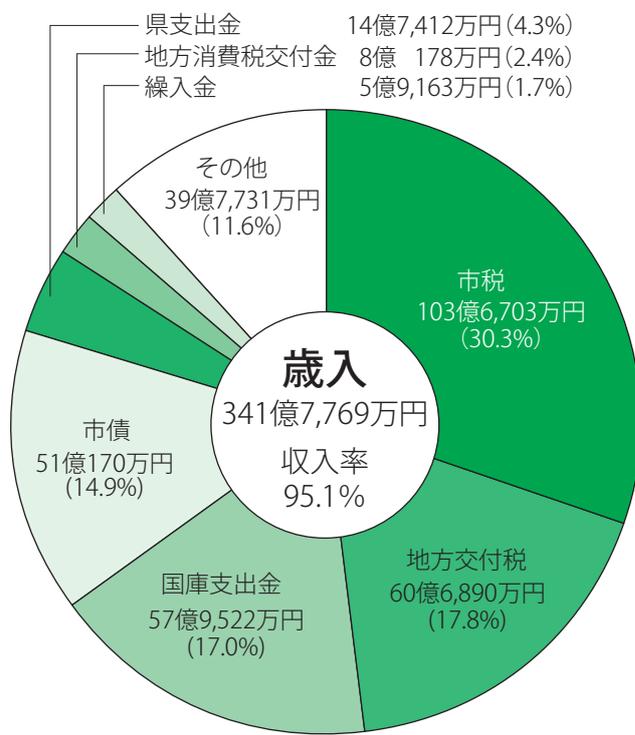
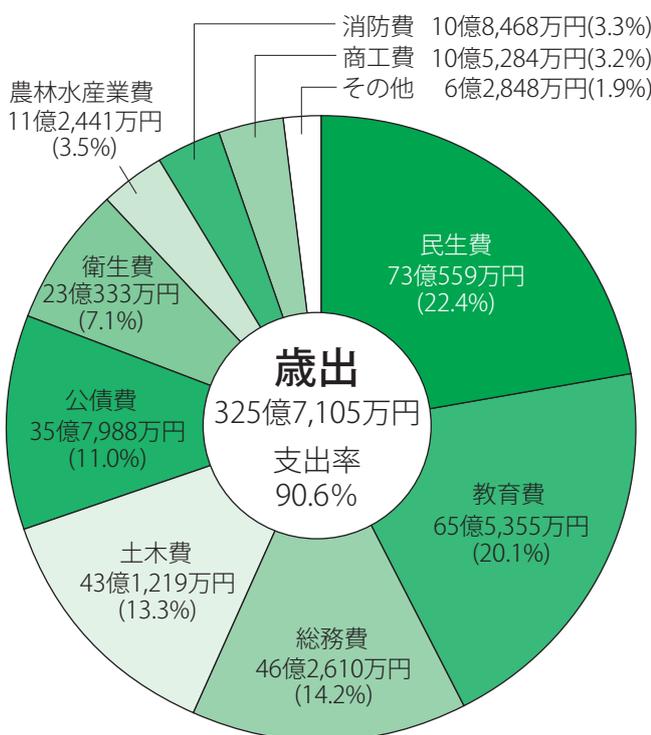
平成21年度一般会計の最終予算額は359億5562万円。これに対し決算額は、歳入341億7769万円、歳出325億7105万円。前年度と比較すると、歳入では42億8795万円、14・3%の増、歳出では39億2692万円、13・7%の増となりました。

収入済額の主な内訳は、市税が103億6703万円、地方交付税が60億6890万円、国庫支出金が57億9522万円、市債が51億170万円などです。

また、支出済額の主な内訳は、民生費（社会福祉、児童福祉関係経費）が73億559万円、教育費（小・中学校、公民館、体育施設関係経費）が65億5355万円、総務費が46億2610万円、土木費（道路、橋、公園などの施設整備経費）が43億1219万円、公債費（借入金返済）が35億7988万円などです。



一般会計の状況

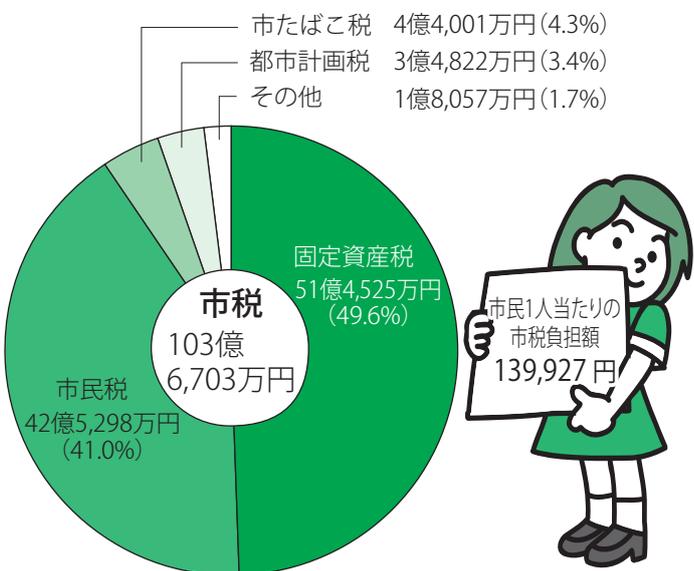


歳出科目別 1人当たり決算額

歳出科目	1人当たり決算額
民生費	98,606円
教育費	88,455円
総務費	62,440円
土木費	58,203円
公債費	48,319円
衛生費	31,089円
農林水産業費	15,177円
消防費	14,640円
商工費	14,210円
労働費	4,941円
議会費	3,501円
災害復旧費	41円

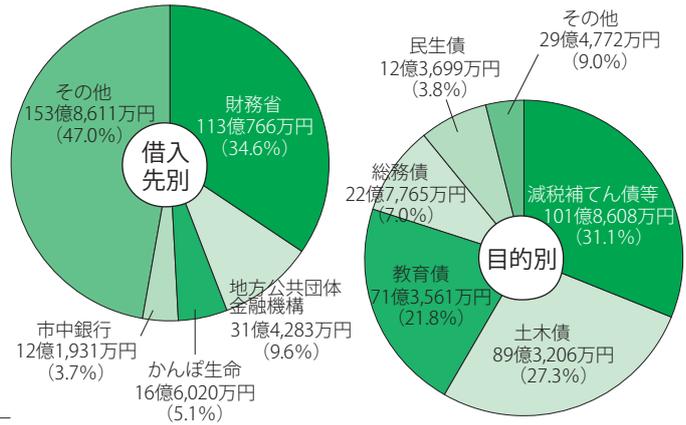


市税の状況



住民基本台帳人口 74,089人 (平成22年3月31日現在)

平成21年度末市債の借入残高



○一般会計(上のグラフ) 327億1,611万円
 ○下水道事業特別会計 111億9,758万円
 ○農業集落排水事業特別会計 16億2,109万円

財産の状況

土地	5,574,787㎡
建物	325,367㎡
基金	63億8,684万円

特別会計の状況

会計名	予算現額	収入済額	収入率
		支出済額	支出率
国民健康保険事業費	79億8,870万円	78億4,215万円	98.2%
		74億1,290万円	92.8%
下水道事業	28億2,060万円	26億6,622万円	94.5%
		26億 644万円	92.4%
老人保健	9,104万円	1億1,130万円	122.3%
		8,620万円	94.7%
農業集落排水	1億8,400万円	1億9,376万円	105.3%
		1億7,081万円	92.8%
介護保険	46億8,707万円	46億8,825万円	100.0%
		45億9,930万円	98.1%
子育て支援券	2億5,300万円	1億9,046万円	75.3%
		1億4,535万円	57.5%
後期高齢者医療	5億3,942万円	4億9,745万円	92.2%
		4億8,771万円	90.4%
須賀川財産区	80万円	67万円	83.1%
		56万円	69.4%

水道事業の状況

●収入および支出の状況			
《収益的収支》 事業運営を目的とした収支	収入	14億5,064万円	
	支出	13億5,495万円	
《資本的収支》 設備整備を目的とした収支	収入	6億5,697万円	
	支出	13億8,929万円	
●業務の状況			
給水戸数	25,730戸		
給水人口	70,934人		
普及率	93.80%		

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、内部留保資金で補てんしました。

特別会計の状況

●国民健康保険事業費特別会計

決算額は、歳入78億4215万円、歳出74億1290万円、前年度と比較すると、歳入1094万円、0.1%、歳出9901万円、1.3%のそれぞれ減でありました。

●下水道事業特別会計

決算額は、歳入26億6622万円、歳出26億644万円、前年度と比較すると、歳入4億2185万円、13.7%、歳出3億9004万円、13.0%のそれぞれ減でありました。

●老人保健特別会計

決算額は、歳入1億130万円、

●農業集落排水事業特別会計

決算額は、歳入1億9376万円、歳出1億7081万円、前年度と比較すると、歳入447万円、2.3%、歳出1112万円、6.1%のそれぞれ減でありました。

●介護保険特別会計

決算額は、歳入46億8825万円、歳出45億9930万円、前年度と比較すると、歳入2億2449万円、5.0%、歳出2億5842万円、6.0%のそれぞれ増でありました。

●子育て支援券特別会計

決算額は、歳入1億9046万円、歳出1億4535万円、前年度と比較すると、歳入2919万円、18.1%、歳出2279万円、18.6%のそれぞれ増でありました。

●後期高齢者医療特別会計

決算額は、歳入4億9745万円、歳出4億8771万円、前年度と比較すると、歳入2570万円、5.4%、歳出2174万円、4.7%のそれぞれ増でありました。

●須賀川財産区特別会計

決算額は、歳入67万円、歳出56万円、前年度と比較すると、歳入20万円、23.0%の減、歳出3万円、5.5%の増でありました。

水道事業の状況

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収益14億5064万円、支出13億5495万円、前年度と比較すると、収益9398万円、6.9%、支出6595万円、5.1%のそれぞれ増でありました。
 資本的収支の決算額は、収入5697万円、支出13億8929万円、前年度と比較すると、収入2億7289万円、71.1%、支出2億9248万円、26.7%のそれぞれ増でありました。

■問い合わせ

財政課財政係
TEL (23) 8797